

地域協議会だより

発行 板倉区地域協議会

編集 地域協議会だより編集委員会 (板倉区総合事務所内)

上越市板倉区針722-1

TEL 0255-78-2141

今号の話題

- ◆ 地域協議会について
- ◆ 地域協議会委員視察研修について
- ◆ 地域協議会の動き

地域協議会とは？

各区に設置する地域協議会は、『**自主自立のまちづくり**』を推進するため、様々な立場の住民の皆さん同士が、地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて話し合い、話し合いの結果を地域に説明したり、話し合った内容を地域団体等との連携・調整により取り組んだりするとともに、市長に意見として伝えること等を行う機関です。

○ 地域協議会ではどんなことを話し合うの？

地域協議会では、**住民の皆さんが日常生活の中で改善が必要と感じているテーマについて自主的に話し合う**ほか、市長から意見を求められた案件(諮問)について話し合います。

○ なぜ市長は地域協議会に意見を聴くのか？

例えば、市が集会施設の設置等を行う場合に、住民生活に及ぼす影響をあらかじめその区の地域協議会に

意見を聴き、その後の政策判断の参考とするために行うものです。

○ 地域協議会で話し合ったことはどうなるの？

地域協議会は、市長が地域の声を聴くために設置した機関(市長等の付属機関)であり、**市長はその意見を尊重することを基本としています**。ただし、意見の内容や市の財政状況などから、市政に反映できない場合もあります。

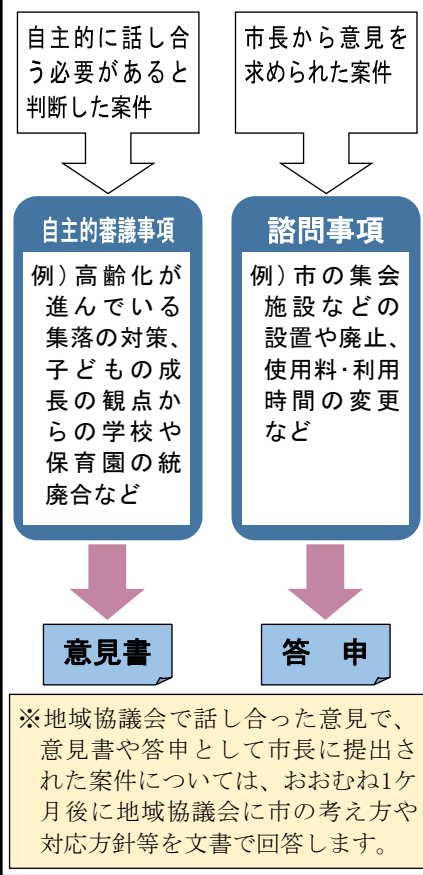
○ 地域協議会の話し合いの内容を知りたいときは？

地域協議会の開催予定は事前に公表しており、会議はどなたでも傍聴できます。また、地域協議会で話し合っていることや活動の様子は、この『地域協議会だより』でお知らせするとともに、市のホームページで会議録や『地域協議会だより』を掲載・公表しています。

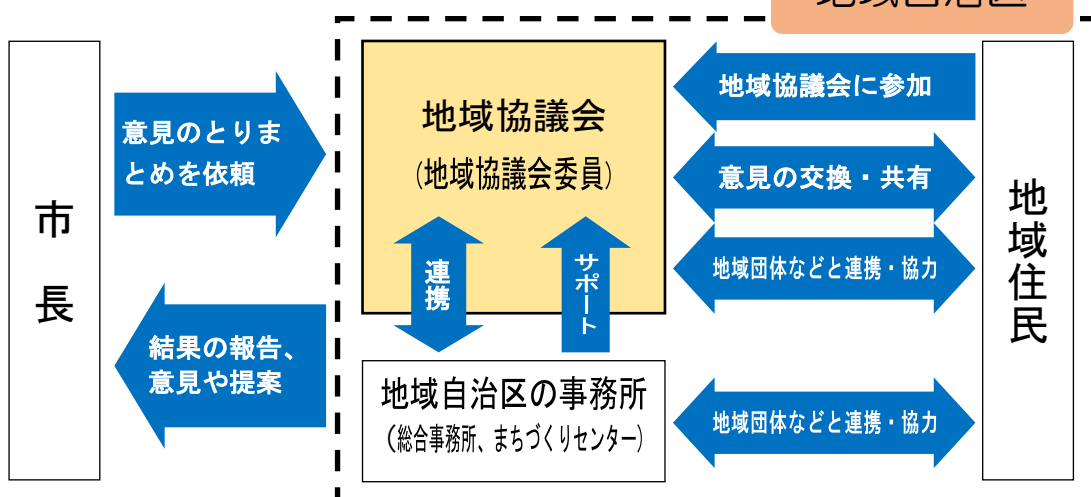
○ 地域協議会は他にどんなことをしているの？

地域協議会では、話し合いを行う

■ 地域協議会の話し合い等の流れ



■ 地域協議会を中心としたイメージ図



定例会のほか、委員の共通認識を深めるための研修会、地域の課題を議論する上で必要な視察研修や勉強会を行っています。また、地域の課題を把握するため、町内会やまちづくり団体など、地域で活動する団体との意見交換も行います。

地域協議会委員視察研修を行いました

令和2年10月28日、板倉区地域協議会委員視察研修を実施しました。今年度は地域協議会委員の改選で10名が新たに任命されたことから、今後の板倉区の自主的審議や地域協議会委員の見識の向上に役立てることを目的に、板倉区内の主要施設及び地域活動支援事業の現場を確認しました。

公の施設再配置計画の関係として、板倉北部スポーツセンター、光ヶ原高原関連施設、やすらぎ荘、区内主要施設及び事業として、板倉北部工業団地、高野地内の上越市スマート農業プロジェクト実証事業、ゑしんの里記念館、旧寺野小学校、地すべり資料館、山寺薬師、旧筒方小学校、地域活動支援事業の関係として、箕冠城址公園、やすらぎ荘周辺、丈ヶ山、栗沢桜の里、光ヶ原高原、玄藤寺あやめの里、宮嶋小学校、国川地すべり跡を視察しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動支援事業の現地確認もできなかつたので、板倉区内の施設の現状や地域の活動状況について、改めて確認することができ、板倉区の現状を深く理解することができました。



光ヶ原高原（難局打破の鉄球）の視察



ゑしんの里記念館の視察

《地域協議会の動き》

- ▼7月7日 第1回健康福祉部会（座長の選出 ほか）
- ▼7月7日 第1回産業建設部会（座長の選出 ほか）
- ▼7月8日 第1回地域振興部会（座長の選出 ほか）
- ▼8月6日 第3回地域協議会（地域協議会の研修について ほか）
- ▼8月26日 第1回地域活動審査基準検討部会（座長の選出 ほか）
- ▼9月8日 第4回地域協議会（地域との意見交換会について ほか）
- ▼9月24日 第2回健康福祉部会（自主的審議事項について）
- ▼10月8日 第5回地域協議会（地域協議会委員視察研修について ほか）
- ▼10月8日 地域協議会第1回勉強会
- ▼10月28日 地域協議会委員視察研修（板倉区内の主要施設等）
- ▼11月30日 第2回地域活動審査基準検討部会（令和3年度地域活動支援事業採択基準について ほか）
- ▼12月18日 第6回地域協議会（令和3年度地域活動支援事業について ほか）

《編集後記》

地域協議会委員に初めて選任されて半年が過ぎました。直面する課題に諸先輩皆様のご指導を仰ぎながら前向きな姿勢で取り組んでおります。

さて、この度の板倉区内の視察は、時期的な制約もあり主要な施設の視察となりました。個人的な感覚でなく、立場を意識した視点で視察させていただき、理解度も上がり有意義な研修でありました。

旧板倉町から残る公の施設や地域活動支援事業が、少子化や意識の多様化など課題が多い中で、いろんな制約と環境の変化に維持管理していく難しさを感じることもできました。

今後とも、継続的に現場、現物、現況を見ながら努力されているみなさんとの連携を深め、問題意識を持って対応していきたいと思えます。

今冬は新型コロナウイルスとインフルエンザの流行時期が重なりますが、感染予防に留意されてご自愛ください。

編集委員 小林 政弘